

はじめに

規制緩和を伴う構造改革で社会のユニバーサル化・情報化・競争化が進行し、大規模な世代交代を迎えて少子高齢化が一段と加速するとともに、女性に求められる社会的活躍が高度化しつつある時代の転換期にあつて、政府が目指す教育改革の施策は、規制改革会議、経済財政諮問会議、教育再生会議、あるいは中央教育審議会等の審議の動きが早まる中で、徐々にその輪郭を表し始めています。

その中には、教育パウチャーの導入、定員未充足大学等への補助金削減、補助金の競争的配分の強化、教育特区の全国への拡大、9月入学の実施、国立大学の入試日の分散のような、中小の私学にとっては、志願者確保や経営に直結するテーマも含まれております。今後、現状を点検評価して学園の将来を見据えていく上で、われわれ関係者も環境の新たな変化の兆しを積極的に看取り、当事者意識をもって事柄の推移を見極めていく必要があります。

このような環境の変化の中で、女性の自立した社会的活躍が強く求められている今日、その能力開発の期待に応えるため、学園がこれまで目指してきた女子高等教育の改革は、人文科学系の単一の教育領域を、社会科学系の教育領域も加えて異分野にまたがる複数の教育領域に拡充すること、また、短期大学部と女子大学という並列的な設置のあり方を根本的に改め、これを一本化して、中学高校から大学学部及び大学院研究科という直列的な設置に転換すること、というものであります。

明治維新以来、いち早く女性に対する高度な教育の重要性を見抜き先導してきた跡見として、伝統ある教育精神の現代化を進めてきた学園は、この方向性を未来に向かって一段と確かなものとするため、平成20年10月を期して短期大学部廃止後の茗荷谷キャンパスを、女子大学の新たな都心キャンパスとしてリニューアルしていきます。また、2キャンパスを同時に視野に入れた新たな基幹業務システムを導入し、管理運営についても抜本的な改革改善を行っていきます。

．学校法人跡見学園寄附行為

大正二年十一月二十一日制定

(大正二年十月十日証書作成)

(前文)

本法人は、財団法人跡見女学校を組織変更して、その一切の事業を継承するものである。本法人の前身者財団法人跡見女学校は、明治八年一月八日、東京神田仲猿楽町に跡見花蹊が設立し、爾来経営して来た跡見女学校の施設一切を、同人のため原富太郎外四百四十名の寄附になる校舎校具と共に移付し、大正二年十一月二十一日設立した財団法人で、当時の役員は、名誉顧問松尾臣善、渋沢栄一、千家尊福、理事跡見花蹊、跡見泰、跡見李子、原富太郎、橋本太吉、角田真平、島田三郎、監事安田善三郎、増田義一である。

茲に本法人は建学以来一貫した花蹊の教育精神を継ぎ、時世に適した女子教育を行い、もつてもつとも健全な公民としての完全な淑女を養成しようとするものである。

・法人の概要

1. 学校法人の沿革（概要）等

- 明治8年1月8日 学祖跡見花蹊、東京神田に跡見学校を開設
- 21年1月8日 小石川柳町に校舎移転
- 大正2年11月21日 財団法人跡見女学校設立認可
- 昭和8年1月11日 小石川大塚校舎移転
- 19年4月1日 高等女学校令により跡見女学校を跡見高等女学校に改称
- 21年3月30日 跡見高等女学校専攻科設置認可（修業年限3年 文科国文、家政科）
- 22年4月1日 跡見学園中学部設置認可（学制改革による）
- 23年3月10日 跡見学園高等学校設置認可（学制改革による）
- 24年3月31日 跡見高等女学校廃止認可
- 24年4月1日 跡見学園高等学校専攻科（文科：国文・英文課程、家政科：家政保健・生活芸術課程）及び別科設置認可
- 25年3月14日 跡見学園短期大学設置認可（文科国文・家政科〔家政保健・生活芸術課程〕修行年限2年）
- 25年3月31日 跡見学園高等学校別科廃止
- 25年11月10日 跡見学園中学部を跡見学園中学校に改称
- 26年2月21日 財団法人跡見女学校より学校法人跡見学園に組織変更認可
- 26年3月31日 跡見学園高等学校専攻科生徒募集停止
- 27年2月20日 跡見学園短期大学生生活芸術科増設認可
- 29年4月1日 跡見学園高等学校専攻科廃止届
- 33年2月6日 跡見学園高等学校・中学校の「6年制一貫教育」体制の実施
- 40年1月25日 跡見学園女子大学（文学部国文学科、美学美術史学科）設置認可
- 41年12月26日 跡見学園女子大学文学部英文学科増設認可
- 49年1月23日 跡見学園女子大学文学部文化学科増設認可
- 50年10月21日 跡見学園創立100周年記念式典挙行
- 57年1月16日 跡見学園短期大学入学定員変更、文科英文専攻課程設置認可
- 60年12月25日 跡見学園短期大学文科英文専攻課程に臨時的定員増認可
- 平成2年9月28日 跡見花蹊生誕150年記念式典挙行
- 2年12月21日 跡見学園女子大学文学部に臨時的定員増認可
- 6年8月30日 跡見学園短期大学から跡見学園女子大学短期大学部に名称変更認可
- 7年11月11日 跡見学園創立120周年記念式典挙行
- 7年11月15日 跡見学園女子大学花蹊記念資料館開館
- 11年10月20日 跡見学園女子大学文学部に臨時的定員増延長認可
跡見学園女子大学短期大学部に臨時的定員増延長認可
- 13年5月29日 跡見学園女子大学文学部4学科（国文学科、美学美術史学科、英文学科、文化学科）を改組し、文学部人文学科の設置認可
開設時期 平成14年4月1日
- 13年8月1日 跡見学園女子大学文学部臨床心理学科設置認可
開設時期 平成14年4月1日

- 跡見学園女子大学短期大学部文科収容定員増に係る学則変更認可
 変更時期 平成14年4月1日
- 跡見学園女子大学短期大学部文科英文専攻課程の期間を付した入学定員の設定に係る学則変更認可
 変更時期 平成14年4月1日
- 跡見学園女子大学短期大学部家政科収容定員減に係る学則変更認可
 変更時期 平成14年4月1日
- 跡見学園女子大学短期大学部生活芸術科収容定員減に係る学則変更認可
 変更時期 平成14年4月1日
- 13年12月20日 跡見学園女子大学マネジメント学部マネジメント学科設置認可
 開設時期 平成14年4月1日
- 14年3月30日 跡見学園女子大学文学部国文学科、美学美術史学科、英文学科、文化学科の学生募集停止届出
 実施時期 平成14年4月1日
- 14年4月1日 跡見学園女子大学文学部人文学科・臨床心理学科、マネジメント学部マネジメント学科開設
- 15年7月11日 跡見学園女子大学短期大学部文科国文専攻課程及び英文専攻課程名称変更届出
 跡見学園女子大学短期大学部文科国文専攻課程・英文専攻課程及び家政科の収容定員変更届出
- | | 入学定員 |
|----------|-----------------------------|
| 文科国文専攻課程 | —> 言語文化科日本語専攻課程 - 10名 (60名) |
| 文科英文専攻課程 | —> 言語文化科英語専攻課程 + 5名 (100名) |
| 家政科 | + 5名 (100名) |
- 変更時期 平成16年4月1日
- 15年7月22日 学校法人跡見学園寄附行為変更届
 名称変更：短期大学部文科 —> 短期大学部言語文化科
 文科国文専攻課程 —> 言語文化科日本語専攻課程
 文科英文専攻課程 —> 言語文化科英語専攻課程
- 15年8月1日 跡見学園女子大学短期大学部収容定員関係学則変更届出書の受理通知受領(文部科学省大学課短期大学係)
- 16年11月30日 跡見学園女子大学大学院人文科学研究科日本文化専攻・臨床心理学専攻設置認可
 開設時期 平成17年4月1日
- 17年3月23日 評議員会・理事会において可決承認
 跡見学園女子大学文学部コミュニケーション文化学科設置
 跡見学園女子大学マネジメント学部生活環境マネジメント学科設置
 以上開設時期 平成18年4月1日
 跡見学園女子大学短期大学部学生募集停止
 実施時期 平成18年4月1日
- 17年4月1日 代表権者確認の変更登記
 「私立学校法の一部を改正する法律」(平成16年法律第42号)の施行に伴う変更登記

- 17年4月5日 跡見学園女子大学文学部コミュニケーション文化学科設置届出
跡見学園女子大学マネジメント学部生活環境マネジメント学科設置届出
跡見学園女子大学短期大学部学生募集停止の報告
以上開設・実施時期 平成18年4月1日
- 17年6月21日 跡見学園第19期役員・評議員改選、選任完了
- 17年7月29日 跡見学園女子大学文学部人文学科、臨床心理学科及びマネジメント学部マネジメント学科の収容定員変更認可
人文学科 1,440名
臨床心理学科 480名
マネジメント学科 880名
変更時期 平成18年4月1日
- 17年10月20日 跡見学園130年史『跡見学園 130年の伝統と創造』刊行
- 17年11月12日 跡見学園創立130周年記念式典挙行
- 17年12月5日 跡見学園女子大学大学院マネジメント研究科マネジメント専攻設置認可
開設時期 平成18年4月1日
- 17年12月13日 評議員会・理事会において可決承認
「跡見学園女子大学短期大学部の施設拡充計画（概要）」
工期 平成19年4月～平成20年9月
- 17年12月20日 『跡見花蹊日記』刊行（全5巻のうち 第1巻～第4巻まで刊行）
- 18年3月27日 跡見学園女子大学大学院マネジメント研究科設置計画の変更協議書の提出（文部科学省大学設置室法人係）
- 18年9月30日 跡見学園女子大学文学部美学美術史学科廃止
届出日 平成18年9月28日
- 18年12月5日 「大学教員組織の整備」 学校教育法を一部改正する法律(平成17年法律第83号)
助教授に代えて准教授を設けるとともに、助教を新設する。
大学及び大学院の学則を変更することを評議員会、理事会において承認可決し、文部科学省に提出
施行日 平成19年4月1日
- 19年3月27日 理事会・評議員会において可決承認
短期大学部の廃止及びそれに伴う寄附行為の変更について決議
- 19年3月31日 跡見学園女子大学短期大学部閉学（文部科学大臣の認可を待って廃止予定）
跡見学園女子大学文学部英文学科廃止
届出日 平成19年3月29日

2. 設置する学校・学部・学科等

(1) 女子大学

創設年度 = 昭和40年度

1) 大学院

(単位：名)

研究科・専攻名		開設年度	入学定員	編入学定員	入学者数 (18年4月1日)	収容定員	学生数 (18年5月1日)
人文科学研究科	日本文化専攻	平成17年度	8		6	16	13
	臨休心理学専攻	平成17年度	12		12	24	28
マネジメント研究科	マネジメント専攻	平成18年度	15		5	15	5
合 計			35		23	55	46

2) 学 部

(単位：名)

学 部・学科名		開設年度	入学定員	編入学定員	入学者数 (18年4月1日)	収容定員	学生数 (18年5月1日)
文学部	国文学科	昭和40年度					1
	美学美術史学科	昭和40年度					1
	英文学科	昭和42年度					3
	文化学科	昭和49年度					3
	人文学科	平成14年度	360		414	1,589	1,836
	臨床心理学科	平成14年度	120		135	420	516
	コミュニケーション文化学科	平成18年度	90		84	90	84
マネジメント学部	マネジメント学科	平成14年度	215	3年次 10	214	820	887
	生活環境マネジメント学科	平成18年度	80		52	80	52
合 計			865	10	926	2,999	3,383

* 平成14年度学生募集を停止し、美学美術史学科は平成18年9月30日廃止、英文学科は平成19年3月31日廃止した。

(2) 女子大学短期大学部

創設年度 = 昭和25年度

(単位：名)

学科・専攻名		開設年度	入学定員	入学者数 (18年4月1日)	収容定員	学生数 (18年5月1日)
言語文化科	日本語専攻	昭和25年度	60	0	120	53
	英語専攻	昭和57年度	100	0	200	82
家政科		昭和25年度	100	0	200	93
生活芸術科		昭和27年度	80	0	160	50
合 計			340	0	680	278

* 平成16年度から文科を言語文化科、国文専攻を日本語専攻、英文専攻を英語専攻に名称変更し、言語文化科及び家政科の入学定員を上記のとおり変更した。

* 平成18年度学生募集を停止し、平成19年3月31日閉学（文部科学大臣の認可を待つて廃止予定）

(3) 高等学校

創設年度 = 昭和23年度

(単位：名)

学科・課程名	開設年度	入学定員	入学者数 (18年4月1日)	収容定員	生徒数 (18年5月1日)
全日制課程普通科	昭和23年度	300	272	900	811

(4) 中学校

創設年度 = 昭和22年度

(単位：名)

開設年度	入学定員	入学者数 (18年4月1日)	収容定員	生徒数 (18年5月1日)
昭和22年度	300	279	900	833

3. 学園役員・評議員（第19期）

(平成19年3月31日現在)

(1) 理事 13名

氏名	職名・学園との関係	氏名	職名・学園との関係
跡見 純弘	理事長	内藤 歆修	短期大学部教授
嶋田 英誠	女子大学・短期大学部学長	菊池 慶子	卒業生
大塚 博	短期大学部長	奥村 良子	卒業生
平井 毅	中学校・高等学校長	宮本 文昭	保証人
島野 卓生	中学校・高等学校主事	佐藤 正昭	学識経験者
吉田 一恵	常務理事・法人事務局長	伊藤 大一	学識経験者
山崎 一穎	常務理事・女子大学教授		

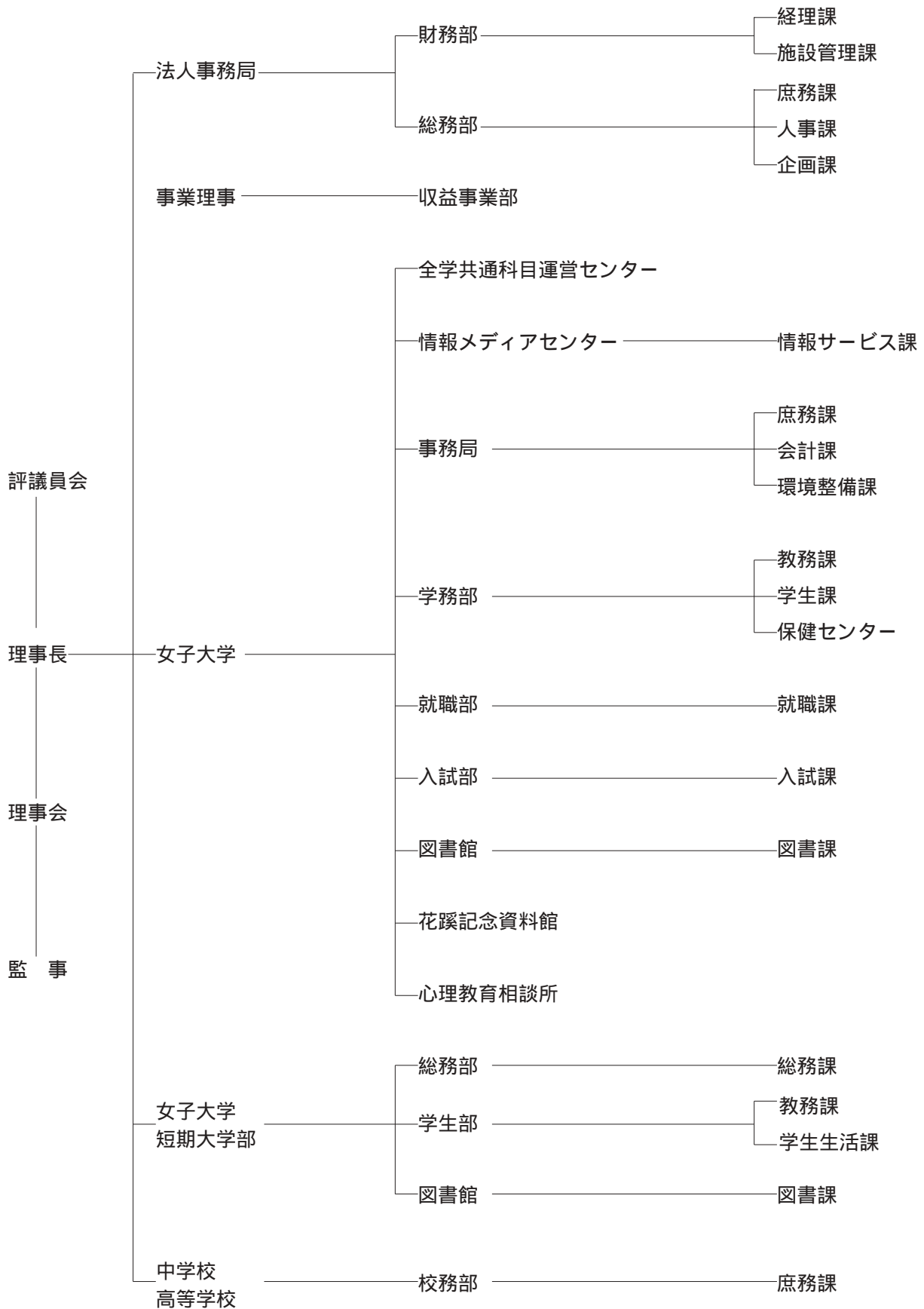
(2) 監事 2名

氏名	職名・学園との関係	氏名	職名・学園との関係
塩谷 睦夫	学識経験者	金井塚 清	学識経験者

(3) 評議員 36名

氏名	職名・学園との関係	氏名	職名・学園との関係
山崎 一穎	女子大学教授	大塚 和子	卒業生
唐沢 徹	女子大学教授	嶋田 英誠	女子大学・短期大学部学長
小仲 信孝	短期大学部教授	大塚 博	短期大学部長
内藤 歓修	短期大学部教授	平井 毅	中学校・高等学校長
花澤 英夫	中学校・高等学校教諭	島野 卓生	中学校・高等学校主事
植松 茉莉子	中学校・高等学校教諭	吉田 一恵	法人事務局長
堀 雅裕	法人事務局次長	石上 恵一	保証人
菊池 慶子	卒業生	赤須 惣一	保証人
木村 安子	卒業生	斎藤 行夫	保証人
岡田 章子	卒業生	辻 利浩	保証人
飯沼 三枝子	卒業生	濱中 雪雄	保証人
奥村 良子	卒業生	佐藤 健司	保証人
山下 陽枝	卒業生	小林 真智郎	保証人
萬葉 洋子	卒業生	則武 陽二	保証人
田中 恵美子	卒業生	宮本 文昭	保証人
小森 いと子	卒業生	佐藤 正昭	学識経験者
藤田 理恵子	卒業生	湧井 恭行	学識経験者
福岡 みつゑ	卒業生	中島 健一	学識経験者

4. 事務組織 (平成18年4月1日現在)



5. 専任教職員の概要 (平成18年4月1日現在)

(1) 跡見学園女子大学

学長 嶋田 英誠

副学長 山田 徹雄

1) 大学院

人文科学研究科 (学部専任教員15名兼任)

マネジメント研究科 (学部専任教員10名兼任)

2) 学部・学科

専任教員 合計 83名

イ) 文学部人文学科

教授 29名

助教授 6名

専任講師 2名

ロ) 文学部臨床心理学科

教授 6名

助教授 3名

専任講師 2名

ハ) 文学部コミュニケーション文化学科

教授 8名

助教授 1名

専任講師 0名

ホ) マネジメント学部マネジメント学科

教授 8名

助教授 7名

専任講師 2名

ヘ) マネジメント学部生活環境マネジメント学科

教授 5名

助教授 2名

専任講師 2名

専任職員 合計 64名

イ) 事務職員 58名

ロ) 技術職員 4名

ハ) 用務職員 2名

(2) 跡見学園女子大学短期大学部

学長(兼任) 嶋田 英誠

短期大学部長 大塚 博

1) 専任教員 合計 12名

言語文化科日本語専攻

教授 2名

助教授 0名

専任講師 0名

言語文化科英語専攻

教授 3名

助教授 0名

専任講師 0名

家政科

教授 2名

助教授 1名

専任講師 0名

生活芸術科

教授 4名

助教授 0名

専任講師 0名

2) 専任職員 合計 12名

事務職員 11名

技術職員 1名

用務職員 0名

(3) 跡見学園中学校・高等学校

校長 平井 毅

主事 島野 卓生

1) 専任教員 合計 67名

教諭 61名

専任講師 6名

2) 専任職員 合計 16名

事務職員 13名

技術職員 0名

用務職員 3名

(4) 法人事務局

法人事務局長 吉田 一恵

法人事務局次長 堀 雅裕

1) 専任職員 合計 21名

(収益事業部2名を含む)

事務職員 19名

技術職員 1名

用務職員 1名

6. 各機関の所在地

(1) 跡見学園女子大学

住 所 〒352 - 8501 埼玉県新座市中野1 - 9 - 6
電 話 048 - 478 - 3333 (庶務課直通)
F A X 048 - 478 - 3111 (庶務課)

(2) 跡見学園女子大学短期大学部

住 所 〒112 - 8687 東京都文京区大塚1 - 5 - 2
電 話 03 - 3941 - 5483 (総務課直通)
F A X 03 - 3941 - 8333 (総務課)

(3) 跡見学園中学校・高等学校

住 所 〒112 - 8629 東京都文京区大塚1 - 5 - 9
電 話 03 - 3941 - 8167 (庶務課直通)
F A X 03 - 3941 - 8685 (庶務課)

(4) 跡見学園法人事務局

住 所 〒112 - 8629 東京都文京区大塚1 - 5 - 9
電 話 03 - 3941 - 8161 (庶務課直通)
F A X 03 - 3941 - 8162 (庶務課)

7. 校外施設

(1) 北軽井沢研修所

住 所 〒337 - 1412 群馬県吾妻郡長野原町大字北軽井沢地藏堂1991 - 92
電 話 0279 - 84 - 2362
F A X 0279 - 84 - 1178
収容人数 約80名
テニスコート、バレーボールコート、グラウンドを備え、クラブ活動、ゼミ、研修など幅広く活用できる。

(2) 鶴原寮

住 所 〒229 - 5243 千葉県勝浦市鶴原901
電 話 0470 - 76 - 0107 (F A X 兼)
収容人数 約50名
臨海施設として、クラブ活動、ゼミ・研修などに活用できる。

(3) 学生寮

住 所 〒352 - 0011 埼玉県新座市野火止5 - 17 - 17
電 話 048 - 478 - 3337 (F A X 兼)
収容人数 133名
設 備 全室個室 (洋室)
バス、トイレ、エアコン、冷蔵庫、机、ベット、電話、インターネットアダプタを完備
食堂、談話室、作法室、レッスンルーム、コインランドリー設置
食 事 平 日 : 朝食・夕食
日・祝日 : 朝食のみ

・事業の概要

平成18年度は、平成7年度の短期大学名称変更を起点とする女子高等教育改革を推進しつつ前年に創立130周年の記念の年を迎えた学園にとって、2研究科・2学部・5学科に刷新された教育体制のもとで、女子高等教育の新たなスタートを切る一年でありました。中学高校も、平成17年度から新しい学校6日制に切り替わり、平成18年度はその教育課程について一定の成果を目指すべく、教科指導力の向上等、更に努力を積み重ねる一年となりました。

この間、学園として予定された事業計画は漏れなく実行に移され、無事に完了されました。

教学関係で主な実施事項は、次のとおりであります。

文学部コミュニケーション文化学科の開設

マネジメント学部生活環境マネジメント学科の開設

文学部人文学科定員減、臨床心理学科定員増及びマネジメント学部マネジメント学科定員増の実施

大学院マネジメント研究科マネジメント専攻の開設

文学部美学美術史学科の廃止

文学部英文学科の廃止

短期大学部学生募集の停止

短期大学部廃止の決議

管理運営関係で主な実施事項は、次のとおりであります。

女子大学新棟建設計画（茗荷谷キャンパス）の始動

リプレースされた大学基幹業務システムの全面稼働

法人基幹業務システム（財務・人事）のリプレース及び学納金収納の口座振替化


大学院マネジメント研究科設置計画変更に伴う東館施設改修工事の実施

新たな2学科増設で学生数が増加する女子大学の施設拡充・整備（教室増設・バリアフリー改修）

これらのうち、最大の課題は、茗荷谷キャンパスにおける女子大学新棟建設計画の推進でありましたが、平成19年2月27日には実施設計（地下1階地上9階・11870㎡）が完了し、平成19年4月からの着工を待つだけとなりました。また、短期大学部の廃止については、在学生の卒業を待って平成19年3月27日の理事会・評議員会で決議がなされたところであります。

なお、学園の女子高等教育発展のため、女子大学と一体化して廃止となる短期大学部を惜しむため、短大卒業生や学園関係者が集い、平成18年11月12日にはホームカミングデーが、平成19年3月27日にはフェアウェルパーティーが、それぞれ盛況裡に開催されました。

1. 法人事務局

（ 印は平成18年度事業計画事業）

（1）平成18年度理事会・評議員会

1) 理事会

開催日	会議	議案
平成18年5月30日（火）	第330回	1. 平成17年度跡見学園事業実績の報告に関する件
		2. 平成17年度跡見学園収支決算報告に関する件

平成18年11月2日(木)	第331回	1. 跡見学園女子大学文学部の美学美術史学科を廃止することに伴う学校法人跡見学園寄附行為の一部変更に関する件
		2. 平成18年度跡見学園収支補正予算に関する件
		3. 平成19年度授業料等学費改定及びこれに伴う学則の一部改正に関する件
平成18年12月5日(火)	第332回	1. 跡見学園女子大学学則の改正に関する件
		2. 跡見学園女子大学大学院学則の改正に関する件
平成19年1月30日(火)	第333回	1. 跡見学園中学校・高等学校校長の選任に関する件
平成19年3月27日(火)	第334回	1. 跡見学園女子大学文学部の英文学科を廃止することに伴う学校法人跡見学園寄附行為の変更に関する件
		2. 跡見学園女子大学短期大学部の廃止に関する件
		3. 跡見学園女子大学短期大学部の廃止に伴う学校法人跡見学園寄附行為の変更に関する件
		4. 跡見学園女子大学学則の一部改正に関する件
		5. 跡見学園女子大学大学院学則の一部改正に関する件
		6. 平成19年度跡見学園事業計画に関する件
		7. 平成19年度学園収入支出予算案に関する件
		8. 跡見学園女子大学短期大学部の廃止に伴う学校法人跡見学園寄附行為施行細則の変更に関する件
		9. 跡見学園女子大学短期大学部の廃止に伴う教職員評議員の選任に係る機関別割り当て数の変更に関する件
		10. 跡見学園女子大学短期大学部の廃止に伴う学園諸規程の変更に関する件
		11. 学校法人跡見学園寄附行為第19条の2第1号に規定する評議員の補欠選任に関する件

2) 評議員会

開催日	会議	議案
平成18年5月30日(火)	第287回	1. 平成17年度跡見学園事業実績の報告に関する件
		2. 平成17年度跡見学園収支決算報告に関する件
		3. 寄附行為第19条の2第4号に規定する評議員の補欠選任に関する件
平成18年11月2日(木)	第288回	1. 跡見学園女子大学文学部の美学美術史学科を廃止することに伴う学校法人跡見学園寄附行為の一部変更に関する件
		2. 平成18年度跡見学園収支補正予算に関する件
		3. 平成19年度授業料等学費改定及びこれに伴う学則の一部改正に関する件
平成18年12月5日(火)	第289回	1. 跡見学園女子大学学則の改正に関する件
		2. 跡見学園女子大学大学院学則の改正に関する件
平成19年3月27日(火)	第290回	1. 跡見学園女子大学文学部の英文学科を廃止することに伴う学校法人跡見学園寄附行為の変更に関する件
		2. 跡見学園女子大学短期大学部の廃止に関する件
		3. 跡見学園女子大学短期大学部の廃止に伴う学校法人跡見学園寄附行為の変更に関する件
		4. 跡見学園女子大学学則の一部改正に関する件
		5. 跡見学園女子大学大学院学則の一部改正に関する件
		6. 平成19年度跡見学園事業計画に関する件
		7. 平成19年度学園収入支出予算案に関する件

平成19年 3月27日(火)	第291回	1. 学校法人跡見学園寄附行為第8条第2項に規定する理事の補欠選任に関する件
		2. 跡見学園女子大学短期大学部の廃止に伴う保証人評議員の選任に係る機関別割り当ての数の変更に関する件

(2) 学園広報関係 (印は平成18年度事業計画事業)

1) 『プロッサム』の発行

学園広報誌として7月(21号)・1月(22号)に各々65,000部発行した。

主な配布先は、生徒・学生、学園卒業生、学園関係者、高等学校、企業等である。

学園の財務情報を公開するほか、各設置校の最新の情報を提供した。

2) 『跡見学園報』の発行

学園報第42号を7月に発行した。また同号「別冊」において、平成17年度事業報告及び平成18年度事業計画を公表した。

平成19年1月、学園報第43号を発行した。

3) 『学園の財務について』の学園ホームページ掲載

平成18年度より学園ホームページのトップに「平成17年度 学園の財務について」のリンクを張り公開した。内容は学園情報誌『プロッサム』21号に掲載したものである。

4) 短期大学部西館校舎改築を視野に入れた新たな広報の推進

「東京の大学」イメージ作り広告制作 茗荷谷キャンパスのリニューアル

平成20年10月から女子大学の3・4年生が茗荷谷キャンパスに移ることを視野に入れ、茗荷谷キャンパス周知のための企画を立て、「シネアドとフリーペーパー」の作成とB0版の大きなポスターを制作し、広報活動を行った。

シネアドとフリーペーパー

広告会社：(株)エムツーカンパニー

a. シネアド

女子高校生に人気の少女漫画を映画化した『NANA 2』の上映前30秒CMで本学の新キャンパス情報を流した。

b. フリーペーパー

茗荷谷周辺の地図を折り込んだフリーペーパーを3万部作成し、『NANA 2』来場者に無料配布した。このフリーペーパーには茗荷谷駅周辺(学園周辺)の飲食店等の協力を得てクーポン券を折り込んだ。

上映館および上映期間

女子高校生の入場比率の高い渋谷・池袋・船橋の映画館を選んだ。期間は上映初日から2週間とした。

上映期間：平成18年12月9日(土)～12月22日(金)

大型ポスター企画

広告会社：廣告社(株)

5色(ピンク、ブルー、グリーン、オレンジ、紫)のB0版のポスターを主要駅に時期を2回に分けて掲出した。

a. 第1回

掲出期間：平成18年12月8日～28日の間の各駅1週間

掲出場所：1.丸ノ内線銀座駅改札 2.銀座駅地下通路 3.池袋駅中央通路
4. JR池袋駅 5.東上線池袋駅 6.西武線池袋駅 7. JR東京駅
8.東横線渋谷駅 9.田園都市線渋谷駅 10.井の頭線渋谷駅
11. JR渋谷駅 12.京浜急行品川駅 13. JR西船橋駅
14. JR横浜駅横須賀線階段正面 15. JR横浜駅中央北通路

b. 第2回

掲出期間：平成19年3月30日～31日(実際は平成19年4月12日まで、年度を越えて連続2週間掲出)

掲出場所：池袋、高田馬場、新宿、代々木、渋谷、新橋、東京、秋葉原、上野、中野、
北千住、大宮、蒲田のJR各駅

なお、今年度は『AERA』への広告掲載は取り止めた。

5) Web環境の整備 

学園ホームページにおけるスカラーオブマンス、校友メールマガジンの配信等の充実を図った。

なお、ウェルカムナビを導入し、受験生の自宅から茗荷谷キャンパス及び新座キャンパスまでの交通経路を検索するページを設けた。


6) 駅看板 

11箇所の駅に広告を出した。(例年通り)

7) 『跡見花蹊日記』第5巻の刊行 

第5巻は「索引編」として刊行する予定で準備を進めてきたが、諸般の事情により、日記文を読むために必要となる基礎的な参考資料を集めた「参考・補遺編」に変更し、編纂作業中である。

(3) 施設設備・情報環境整備関係

1) インターネット関連サーバー機器更新 

サーバー機器リース 799,188円/月(平成19年1月開始)

サーバー機器構築費 23,200,000円

4年リース期間満了に伴いインターネット関連サーバー機器(メールサーバー、WWWサーバー等)の更新を行った。

2) 法人基幹業務システム更新の継続(28,899,150円) 

データ処理から経営支援にも対応し得るシステムへの転換並びに事務効率向上を目的とする法人基幹業務システム(財務はエデュース、人事給与はカシオ)の2ヵ年再構築計画の最終年度にあたり、平成18年10月より新システムを稼働させ、業務を行った。

3) 学生寮の賃料改定

三菱商事との賃貸借契約により現行賃料を1.5%値上げした。

現行賃料	月額	9,901,126円
------	----	------------

改定賃料	月額	10,049,642円
------	----	-------------

実施時期	平成18年9月1日より2年間
------	----------------

4) インターネット学外回線の二重化

学外との通信にはSINET(学術情報ネットワーク)のみを利用して種々の業務を遂行しているが、何らかの障害により、回線が切断された場合は授業及び事務業務に多大な被害が及ぶため、学外回線の二重化を実施した。


品名	KDDIスタンダードイーサアクセス		
費用	使用料	180,600円/月(税込)	
	設置初期費用	69,825円(税込、工事費含)	
利用開始日	平成19年3月		

5) 鶴原寮 裏山樹木剪定及びフェンスネット交換(1,291,500円)

寮建物の裏手にある山の樹木が寮建物の敷地にせり出してきたため剪定し、その境界にあるフェンスも長年の風雨にさらされて錆びて破損してきていたため工事を実施した。

6) 法人棟4階改修工事(5,796,000円)

4階事務室の用途変更に伴い改修工事を行った。

(4) 女子大学新棟建設関係(短期大学部西館校舎の改築) 

1) 新棟建設予定地の地盤調査(ボーリング試験)実施(2,103,150円)

新棟建設予定地(短大西館)の地層構成調査及び標準貫入試験を行い、地盤層の調査、建築物の基礎設計資料(杭の長さ)の調査を行った。


実施日 平成18年11月13日~25日

2) 新棟建設計画工事に関する建築設計・監理業務委託

設計・監理業務に係わる委託費用を下記のように日本設計に支払うこととした。

合計金額	204,000,000円		
基本設計業務	34,890,450円(税込)	平成18年12月末日	
実施設計業務	81,373,950円(税込)	平成19年4月末日	
監理業務中間時	43,867,800円(税込)	平成20年2月末日	
業務完了時	43,867,800円(税込)	平成20年9月末日	

2. 女子大学

( 印は平成18年度事業計画事業)

(1) 教育・研究関係

1) 研究教育組織の改革等 

設置年次を迎える組織

イ) 大学院新研究科開設

マネジメント研究科を開設し、平成18年4月1日より、茗荷谷キャンパスにおいて大学院学生を受け入れた。

ロ) 新学科の開設

短期大学部の募集停止に伴い、その収容定員の範囲で、「コミュニケーション文化学科」及び「生活環境マネジメント学科」の2学科を開設し、平成18年4月1日より新入生を受け入れた。

完成年度を迎える組織

平成17年度に開設した大学院人文科学研究科日本文化専攻及び臨床心理学専攻は、今年度完成年度を迎えた。

設置認可に伴う留意事項の履行

旧4学科を計画のとおり廃止することについては、平成18年度中に文学部美学美術史学科及び英文学科が廃止となった。

設置計画の変更

文学部とマネジメント学部の3・4年次の教育を茗荷谷キャンパスで行うため、当初計画においてはマネジメント研究科の講義室・演習室として利用する予定であった短期大学部西館の改築工事（女子大学新棟建設）を平成19年度から行う計画変更が決議された。この計画変更に係る女子大学新棟建設計画を受けて、短期大学部西館3階のマネジメント研究科の講義室・演習室を同東館4階に移設し、併せて該当部分の改修工事を行うこととした。

日本臨床心理士資格認定協会による第1種指定大学院の指定

大学院人文科学研究科臨床心理学専攻は、(財)日本臨床心理士資格認定協会より、第1種大学院指定の通知「指定証」を受け、「指定大学院」として認定された。(平成18年4月20日認定証受理)

2) 新カリキュラムの実施

外部団体との協力

イ) 外部団体の協力による科目の新設

外部団体とも協力して、ネイティブ教員による実践的な応用英語のほか、学生及び社会人として必要とされるマナーについて実践を伴う形で学び社会で通用する常識を修練する科目「ソーシャルマナー」等、全ての1年生を対象とする「社会人形成科目」を中心に科目の新設をした。講師については外部業者に派遣を委託した。

業務委託先：「ソーシャルマナー」= JALアカデミー株式会社 (35,597,750円)

「英語C」= ベルリッツジャパン株式会社 (10,684,445円)

ロ) 進級制度の周知徹底

学生便覧に新カリキュラム事項を掲載し、進級制度について明記した。また、ガイダンスを実施するとともに、アカデミック・アドバイザーから説明を加えた。

3) 平成20年度に茗荷谷キャンパスにおいて後期課程を行うための準備

平成18年5月27日(土)1年生保護者を対象に3年生の後期課程から茗荷谷キャンパスで授業を行うことを説明した。

4) 短期大学部の閉学

短期大学部教員の女子大学への移籍準備を行い、平成19年3月に研究室の移動を行った。

5) 大学基準協会に大学相互評価を申請

平成19年度に認証評価機関の財団法人大学基準協会の評価を受けるべく、平成18年4月より具体的な作業を開始したが、自己点検・評価の深化・拡充を図るため、平成20年度に評価を受けることとした。

6) 教員組織の再検討

学校教育法の一部を改正する法律のうち、「大学等の教員組織の整備」に係わる改正規定が平成19年4月1日から施行されるため、大学教員の職位の変更を行った。

この件については、平成18年12月5日開催の評議員会と理事会で跡見学園女子大学学則及び跡見学園女子大学大学院学則を変更することの承認を得て、文部科学省に届け出を行った。

7) 花蹊記念資料館企画展

- 平成18年 4月3日(月) ~ 5月20日(土)
跡見ゆかりの人々 - 平成17年度新収蔵品公開 -
- 〃 6月5日(月) ~ 7月15日(土)
テンペラルネサンス - 学生作品を中心に -
収蔵品による展示 - 平成17年度新収蔵品公開 -
- 〃 9月25日(月) ~ 11月4日(土)
デザイン・工芸実習展
メキシコの息吹 - 竹田鎮三郎展 -
- 〃 11月20日(月) ~ 12月22日(金)
中国宋代絵画展 - 原寸大複製による -
メキシコの息吹 - 竹田鎮三郎展 -
- 平成19年 1月15日(月) ~ 2月28日(水)
博物館実習生による 模擬展示
- 〃 3月18日(土) ~ 3月31日(土)
3月期特別開館 収蔵品による展示

8) 新座市市民総合大学への協力

新座市・新座市教育委員会主催で行われるもので、本学が会場の提供及びコーディネータとして参加し協力後援した。

9) 夏期語学研修に関する協定締結について

夏期語学研修について、トマス・アクイナス大学(ミシガン州)と提携するため、協定書にサインした。

10) 立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科と跡見学園女子大学大学院マネジメント研究科との協定締結

両大学院研究科との間で単位互換制度について合意し、平成18年10月19日(木)に学長名で正式に協定を締結し、協定書を交わした。

11) 平成18年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」

「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」(現代GP)とは現代的課題に対応できる人材養成と大学の多様な機能の展開を目的として、文部科学省が学生教育の質の向上など大学教育改革の取組を選定し、重点的に財政支援を行うものである。そのなかのテーマ1「地域活性化への貢献」の分野において、地元新座市の地域活性化を目的に「(有)ハイカラ」を通じて女子大生の視点を積極的に活用するマネジメント学部の実践教育の取り組みが評価されて平成17年度に選定され、今年度も引き続き支援を受けて実施した。

事業名称	『実践教育の場としての地域連携プログラム』
取組期間	平成17年度～平成19年度
平成18年度補助金	9,900,000円

12) 「ATOMIアカデミック・インターンシップ」 

マネジメント学部のゼミ受講者が全員参加した。全員が参加のインターンシップは日本の大学では唯一の試みである。

13) 公開講座

一般者を対象にして次のとおり実施した。

春学期

イ) 語学コース「英会話・中国語会話」

平成18年 5月13日～7月15日 毎週土曜日 [全10回]

ロ) 教養コース「女性を描く/女性が描く」

文学・挿絵・マンガの女性表現を読む

平成18年6月10日～6月24日 毎週土曜日 [全3回]

八) パソコンコース「Wordにチャレンジ・Excelにチャレンジ」

平成18年5月20日(土)・27日(土)

秋学期

イ) 語学コース「英会話・中国語会話」

平成18年10月7日～12月16日 毎週土曜日 [全10回]

ロ) 教養コース「コミュニケーション文化」

平成18年10月14日～10月28日 毎週土曜日 [全3回]

八) パソコンコース「Excelにチャレンジ」

平成18年9月30日(土)・10月7日(土)

大学院マネジメント研究科・開設記念講座

「21世紀のマネジメントはこうなる」

平成18年6月3日～6月24日 毎週土曜日 [全4回]

14) 講演会・講習会

文学部

公開講座

主催：文学部FD委員会

日時：平成18年6月16日(金) 14:40～16:10

場所：花溪メモリアルホール

授業担当者：土屋博映(文学部コミュニケーション文化学科教授)

授業科目：文学部専門科目 「国語音声学A」

FDワークショップ

主催：文学部FD委員会・コミュニケーション文化学科

日時：平成18年7月12日(水) 14:40～16:10

場所：2171教室

テーマ：「大学における授業コミュニケーションの改善に向けて」

話題提供者：a) 高橋六二(文学部コミュニケーション文化学科教授)

「読む」「調べる」とおして基礎的学習作業をいかに進めるか

b) 土屋博映(文学部コミュニケーション文化学科教授)

大教室での授業を中心としたコミュニケーションの改善について

c) 最上勝也(文学部コミュニケーション文化学科教授)

「聴く」「理解する」「話す」の授業におけるいくつかの試み

司会・総括：村越行雄(文学部コミュニケーション文化学科教授)

FD講演会

主催：文学部FD委員会

日時：平成18年9月20日(水) 16:30～18:00

場所：2171視聴覚教室

テーマ：「授業評価を真に活用するために」

講師：山本 泰氏(東京大学教授)

司 会：横山太郎（文学部人文学科専任講師）

F Dワークショップ

主 催：文学部F D委員会・人文科学研究科

日 時：平成18年10月11日（水）13：00～14：30

場 所：2283教室

テーマ：「大学院修士課程第3セメスターまでを振り返って」

講 師：a) 泉 雅博（文学部人文学科教授）

「日本社会史 通論・特論・演習 をどのように関連づけるか」

b) 岩本憲司（文学部人文学科教授）

「原文にたどりつくまで - 緯書資料を例として - 」

司 会：奈倉哲三（文学部人文学科教授）

F Dシンポジウム

主 催：文学部F D委員会・人文科学研究科

日 時：平成18年11月22日（水）14：40～16：10

場 所：2283教室

テーマ：「私とF D - 三つの体験報告から」

シンポジスト：a) 神野藤昭夫（文学部人文学科教授）

「大学教育の工夫を意識したころ」

b) 遠山尚孝（文学部臨床心理学科教授）

「私が受けた臨床教育・訓練の経験から」

c) 横山太郎（文学部人文学科専任講師）

「教員養成と研究者養成 『院生バブル』以後の現状」

司 会：平木典子（文学部臨床心理学科教授）

学術講演会

主 催：文学部学術委員会

日 時：平成18年12月7日（木）13：00～14：30

場 所：花溪メモリアルホール

テーマ：「裁判員制度が変える司法のことば」

講 師：幸田儔朗氏〔(財)NHK放送研修センター日本語センター エグゼクティブアナウンサー〕

「日本語ディベート演習」F D研修会

主 催：コミュニケーション文化学科

日 時：平成19年1月24日（水）13：00～14：30

場 所：2283教室

講 師：松本 茂氏（日本ディベート協会専務理事 立教大学経営学部国際経営学科教授）

学芸員課程講演会

主 催：学芸員課程

日 時：平成19年2月14日（水）10：40～12：10

13：00～14：30

場 所：2171視聴覚教室

テーマ：「文化財の保存修復～漆工芸品を中心に～」

「文化財の保存科学とは～高松塚古墳、キトラ古墳の壁画を中心に～」

講師：武田昭子氏（昭和女子大学 文学部日本文化史学科教授）

澤田正昭氏（国土舘大学 21世紀アジア学部教授）

FDワークショップ

主催：文学部FD委員会・人文科学研究科

日時：平成19年2月28日（水） 15：00～16：30

場所：2283教室

テーマ：「修論指導を終えて」

話題提供者：a) 宮崎圭子（文学部臨床心理学科助教授）

「修士論文 テーマ選択決定まで」

b) 宮岡佳子（文学部臨床心理学科助教授）

「修士論文 研究計画から実施まで」

c) 中野敬子（文学部臨床心理学科教授）

「臨床心理学専攻の修士論文指導における現状と課題」

司会：平木典子（文学部臨床心理学科教授）

マネジメント学部

マネジメント学部FDワークショップ

日時：平成18年5月10日（水）13：00～14：30（2号館会議室）

テーマ：「インターンシップの現状と新任教員への説明」

マナー講座

主催：マネジメント学部

インターンシップのためのビジネスマナー基礎講座

日時：平成18年7月1日、8日（土）13：00～14：30（3155教室）

講師：山口一美氏

大学院マネジメント研究科FDワークショップ

日時：平成18年7月19日（水）13：30～14：30（1号館会議室）

内容：大学院修士課程第1セメスターの評価と改善

FDワークショップ

マネジメント学部・マネジメント研究科共催

日時：平成18年10月4日（水）16：40～18：10（図書館視聴覚ホール）

テーマ：海外研修・実践ゼミナルについて

大学院マネジメント研究科FD講演会

主催：マネジメント研究科

日時：平成18年11月4日（土）14：00～16：30

（茗荷谷キャンパス東館2階視聴覚ホール）

演題：「立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科の理念と現状 院生の募集と修士論文指導などを中心として」

講師：川村仁弘氏（立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授）

FDワークショップ

全学共通科目運営センター主催、文学部・マネジメント学部共催

日 時：平成18年11月29日（水）13：00～13：30（5201教室）

内 容：総合科目の検討 どう統合させるか

キャリアデザイン講演会

女性の社会進出の現状とキャリア形成

主 催：マネジメント学部（学務委員会）

日 時：平成18年12月15日（金）18：00～20：00（茗荷谷キャンパス）

パネラー：青木千恵氏（株式会社リクルートマネジメントソリューションズ）

越智仁美氏（三井化学株式会社）

甫守美沙氏（株式会社B - S T Y L E）

持田聖子氏（株式会社ベネッセ次世育成研究所）

司会進行：福沢恵子氏（ジャーナリスト・東京家政大学人間文化研究所客員研究員）

大学院マネジメント研究科FDワークショップ

日 時：平成19年2月7日（水）13：45～14：30（2号館会議室）

内 容：大学院修士課程第2セメスターの評価と改善

マネジメント学部FDシンポジウム

主 催：マネジメント学部

日 時：平成19年2月21日（水）16：40～18：10（3256教室）

内 容：「企業・行政から見た大学教育の課題」

講 演：小木曾泰司氏（国分株式会社）

楠見恵子氏（新宿区社会福祉協議会）

マネジメント学部FDワークショップ

日 時：平成19年3月14日（水）13：00～14：30（図書館視聴覚ホール）

テーマ：「大学評価におけるマネジメント学部の評価基準設定における問題提起と議論」

発表者：山本貞雄（マネジメント学部長）

曾田修司（マネジメント学部マネジメント学科教授）

朝倉富子（マネジメント学部生活環境マネジメント学科教授）

宮崎正浩（マネジメント学部生活環境マネジメント学科教授）

吉村英子（マネジメント学部生活環境マネジメント学科教授）

村田あが（マネジメント学部生活環境マネジメント学科助教授）

平成18年度心理教育相談所主催講習会

イ) 一般対象講習会(全8回)

開催日	講師	テーマ
5月24日(水)	古池 若葉	描画のワーク：線からところを探る
6月12日(月)	宮岡 佳子	ミドルエイジの女性とうつ
7月7日(金)	遠山 尚孝	対話の進め方のコツ
9月6日(水)	阿部 洋子	安らぐ言葉、安らぐ関係
10月4日(水)	中野 敬子	抑うつ気分の対処法
11月17日(金)	平木 典子	家族のゆくえ - どうなるこれからの親子関係？
12月1日(金)	宮崎 圭子	描画療法によって自己を振り返ってみましょう!!
1月27日(土)	片野 智治	アプローチ・トゥ・フィーリンググッド～「よろこび」を得るために

ロ) 教員(新座市小学校・中学校)対象講習会(全2回)

開催日	講師	テーマ
8月2日(水)	山口 豊一	生徒指導・教育相談の考え方、すすめ方
8月4日(金)	藤澤 伸介	ほんものの学力をめざして

15) 学生による授業評価の実施

春学期末・秋学期末にそれぞれ兼任講師担当科目も含めて全授業で実施した。

16) F Dジャーナル第6号(2006年度)を刊行

授業改善と教育力向上をめざす実践報告集を刊行した。

17) 管理組織の改革等

全学共通科目運営センターの設置

全学共通科目運営センターを設置し、教務課職員兼務担当者を配置した。

学部事務室の設置

学部事務室を設置し、教務課職員兼務担当者を配置した。

大学院掛(茗荷谷キャンパス)の設置

茗荷谷キャンパスに大学院掛を設置し、教務課職員兼務担当者を配置した。

大学改革推進事務連絡会の拡充・継続

平成19年度茗荷谷キャンパス新棟建設着工に向けて意見聴取を行った。

また、茗荷谷キャンパス東館の用途及び備品等の有効利用についての話し合いを行った。

事務システムリプレイス会の継続

事務システム開発担当者(富士通株式会社)を交えた全体会のほか、運用に係る調整を行うため学内会を定期的開催した。


(2) 広報関係及び懇談会等関係

1) 桜まつり

一般市民・地域住民を対象とした「桜まつり」を実施し、観桜のために大学グラウンドを開放した。

開催日：平成18年4月9日(日)

会場：新座キャンパス

2) 進路指導教員対象大学説明会 

平成18年6月6日(火)・9日(金) 高等学校の進路指導教員を対象とした大学説明会を実施した。

会 場：6日は茗溪会館、9日は新座キャンパス

3) オープンキャンパス

開催日：平成18年6月17日(土)

〃 7月15日(土)、23日(土)、29日(土)

〃 8月5日(土)、26日(土)

〃 9月9日(土)

〃 11月25日(土)

平成19年3月24日(土)

参加者数総計：2,929名(高校生他1,845名、保護者他1,084名)

4) 跡見学園高等学校対象の大学説明会

開催日：平成18年6月20日(火)

会 場：跡見学園高等学校

5) 跡見学園中学校PTAによる跡見学園女子大学見学会

跡見学園中学校PTA主催による保護者のための大学見学会を実施した。

開催日：平成18年6月17日(土)

会 場：新座キャンパス

6) 就職懇談会 

平成18年11月21日(火) 大学・短大共催により、企業の採用担当者を対象とする「学生参画型」の就職懇談会を実施した。理事長、学長ほか学生48名と就職担当教職員によるシンポジウムと懇談会を行った。

会 場：跡見小講堂、茗溪会館

7) 入試アドバイザー制度 

この制度も今年度で7年目となり、入試アドバイザー(69名)による高等学校訪問(1,007校)、予備校訪問(66校)、短期大学訪問(27校)を行い、志願者の確保に努めた。

8) 車内広告 

4月・9月には公開講座関連広告を東武東上線及び西武バスの車内に掲出した。

9) 新聞広告(タブロイド版) 

心理教育相談所関連広告を宅配折込新聞(東京新聞『ショッパー』)に12回掲出した。

心理教育相談所の紹介ポスターを掲示した。


ポスター掲示駅：志木駅及び新座駅

掲 示 期 間：平成18年4月1日～平成19年3月31日

(3) 施設設備・情報環境整備関係

1) 2号館外部サッシ廻りシール打替え工事(945,000円)

サッシ廻りシールの劣化により、3階防火扉上部より漏水が発生したため工事を行った。

2) 大学院マネジメント研究科専用室(短期大学部東館)改修工事 

平成19年度から実施する短期大学部西館改築(女子大学新棟建設)に伴い、当初設置計画において大学院専用としていた西館3階講義室と演習室を東館4階に移設することになり、改修工事を行った。

内装工事(2,730,000円)

電源増設工事(1,496,250円)

改修工事(既設ハブ流用)(1,538,250円)

3) バリアフリー化整備工事

食堂棟エレベーター設置工事(29,190,000円)

2号館出入口の自動ドア設置工事(6,090,000円)

4号館出入口の自動ドア設置工事(3,822,000円)

4) グラウンド照明改修工事(992,250円)

カラスによる配線皮膜欠如及び断線の被害が発見されたため、防鳥金物及び防鳥BOXを取り付けた。

5) 事務局空調設備改修工事(1,392,300円)

1号館1階事務局について空調設備の老朽化(昭和63年設置)による改修工事を行った。

6) 1号館特注照明器具交換工事(1,226,400円)

照明器具の老朽化により交換工事を行った。(9台)

7) 体育館放送設備更新(2,614,000円)

体育館の放送設備は製造より20年以上経過しており、故障発生時には部品の入手が困難な状況にあるため、更新を行った。

8) 大学基幹業務システム更新(24,968,895円)

平成18年度より2研究科2学部5学科となることに対応するため、システムの能力増強及び学生サービスの向上を目的にシステムを更新した。

9) AV機器設置工事、コンピュータ教室等PC機器等更新

リース契約期間満了に伴うPC等の更新並びに1号館の普通教室(2室)にAV機器を設置し、マルチメディア機器を活用する授業に対処した。

1号館1404教室AV機器リース 90,825円/月(平成18年4月開始)

1号館1501教室AV機器リース 94,500円/月(平成18年4月開始)

1号館1404教室機器設置費 1,785,000円

1号館1501教室機器設置費 1,627,500円

仮設校舎AV機器・PCリース 363,258円/月

第1・2・6・7各コンピュータ教室

10) 3、4号館ネットワーク機器更新

リース契約期間満了に伴いネットワーク機器を更新した。

ネットワーク機器リース料 553,738円/月(平成19年1月開始)

ネットワーク機器構築費 7,200,000円

11) 地絡事故による体育館系統高圧ケーブル引き替え工事

体育館系統高圧ケーブルの亀裂破損(地中部分)により、体育館及び合宿舎の停電が起き、同一系統の送水ポンプが停止し、上下水道が断水したため、復旧工事を行った。

給水ポンプ仮設電源工事 366,450円(税込)

体育館系統高圧ケーブル引替え工事 1,678,950円(税込)

12) 仮設校舎の設置(6,160,000円 年間リース料)

新学科設置による学生数増加に伴う教室数の不足を解消するため、現駐車場に仮設教室2棟(3教室)を設置した。

13) 浄化槽整備工事 (3,991,050円) 

浄化槽法により毎年1回の保守点検及び清掃が定められている。

14) 人感センサー設置工事 (1,517,250円)

夜間警備を強化するため、校門、クラブハウス、心理教育相談所に人感センサーを設置した。

15) 教務課掲示板脇屋根改修工事 (1,627,500円)

経年劣化による漏水工事を実施した。

(4) 入試状況

1) 平成19年度入試結果 (平成19年3月31日)

大学院

(単位:名)

研究科	専攻	定員	志願者数	受験者数	合格者数	手続き者数	入学予定者数
人文科学研究科	日本文化	8	5	5	5	5	5
	臨床心理学	12	58	58	14	14	12
マネジメント研究科	マネジメント	15	8	8	7	7	6
合計		35	71	71	26	26	23

学部

(単位:名)

学部	学科	定員	志願者数	受験者数	合格者数	手続き者数	入学予定者数
文学部	人文	360	781	764	670	476	445
マネジメント部	コミュニケーション文化	90	200	194	188	124	117
	臨床心理	120	326	320	170	139	129
	マネジメント	215	454	441	395	265	246
	生活環境マネジメント	80	151	149	145	94	85
合計		865	1,912	1,868	1,568	1,098	1,022

(5) 修了者数・卒業者数・進路状況

1) 平成18年度大学院修了者数 (平成19年3月18日付) (単位:名)

研究科	専攻	修了者数
人文科学研究科	日本文化専攻	5
	臨床心理学専攻	14
合計		19

2) 平成18年度大学卒業生数

平成18年9月30日付卒業生数

(単位:名)

学 部	学 科	卒業生数
文 学 部	美学美術史学科	1
	文化学科	1
	人文学科	12
	臨床心理学科	4
	(計)	18
マネジメント部	マネジメント学科	4
合 計		22

平成19年3月18日付卒業生数

(単位:名)

学 部	学 科	卒業生数
文 学 部	国文学科	0
	英文学科	2
	文化学科	1
	人文学科	443
	臨床心理学科	125
	(計)	571
マネジメント部	マネジメント学科	179
合 計		750

3) 平成18年度進路状況(平成19年3月18日卒業生)

(単位:名)

卒業生数	就職希望者数	就職者数	内定率	進 学	その他
750	625	610	97.6%	58	82

3. 短期大学部

(印は平成18年度事業計画事業)

(1) 教育・研究関係

1) 閉学にむけて学生の履修・単位修得の支援及び対策

年度末の時期に余裕を持たせるために、後期の授業開始を10月1日から一週間ほど早め、9月下旬から開始した。

夏期、冬期、春期、と3次にわたり、補充授業及び集中講義を実施した。

(2) 短期大学部閉学関係行事

1) ホームカミングデー

閉学するにあたり、卒業生を学園祭中に茗荷谷キャンパスに招き、旧教職員との懇親の場を提供した。

当日は全国から多数の卒業生が集まり旧交を温め、短大の最後を惜しんだ。

開 催 日：平成18年11月12日(日)

開催時間：第1部 国文・生芸 12時00分～13時30分

第2部 英文・家政 13時30分～15時00分

来場者数：約1,900人

2) フェアウェルパーティー

短期大学部にゆかりの深い学園関係者が一堂に集い、閉学にあたりその業務に尽力された短期大学部関係者をねぎらい、短期大学部57年の歴史に終止符を打つお別れの会を開催した。

開催日：平成19年3月27日(火)

開催時間：17:00～19:00

会場：茗溪会館

参加者：102名

短期大学部専任教職員

学園役員・監事・評議員

校友会(桃李の会・泉会・一紫会)

後援会

短期大学部名誉教授

短期大学部元教職員(平成19年3月現在学園在職者)

(3) 卒業生数・進路状況

1) 平成18年度卒業生数(平成19年3月31日)

(単位：名)

学 科	専 攻	卒業生数
言語文化科	日本語専攻	53
	英語専攻	81
家政科		93
生活芸術科		47
合 計		274

2) 平成18年度進路状況

(単位：名)

卒業生数	就職希望者数	就職者数	内定率	進学	その他
274	182	149	81.9%	46	79

4. 中学校・高等学校

(印は平成18年度事業計画事業)


(1) 教育・研究関係

1) 教員の教科指導力の向上

平成16年12月より行っている生徒による教員の授業評価を平成17年度はより効果を高めるため外部業者に委託して行ったが、期待以上に効果が得られたため、平成18年度はこの効果をより高いものにするため7月に実施し、9月に全教員に対して結果データに基づく研修会を行った。

2) 新任教員の研修

新任教員の学内研修については、今年度から従来のプログラムに加え、アカデミーテンブ株式会社から講師を招いて「ビジネスマナー」についての研修を4月に行った。

- 3) 教員の総合指導力の強化を目指した外部研修 
- コミュニケーション能力向上のための研修
コアネット人材開発研修センター企画「生徒の気づきを引き出す教師のための傾聴法」に7月と3月の2回参加し、研修を受けた。
組織リーダーの養成のための研修
コアネット人材開発研修センター企画「私学次世代教育研究会」に5月～7月、10月～12月参加し、研修を受けた。
- 4) 課外に年間を通して英検対策講座・TOEIC講座を実施した。(週2時間)
- 5) 講演会
- 本校主催
- 対 象：本校教職員
講 師：井口 博氏(弁護士)
月 日：平成18年10月26日(木)
テ ー マ：セクハラ・パワハラ実態と教員の対応
- カウンセリングルーム主催
- 対 象：本校教職員
講 師：佐野秀樹氏(東京学芸大学臨床心理学科教授)
月 日：平成18年12月14日(木)
テ ー マ：「子供の心の荒れと教師」
- 中学1年 学年主催
- 対 象：中学1年保護者ならびに本校教員
講 師：平野愛美子氏(中高カウンセラー)
日 時：平成18年12月15日(金)
テ ー マ：「いじめについて・・・ともに考えましょう」
- 中学2年 PTA主催
- 対 象：保護者
講 師：佐藤さやか氏(警視庁ハイテク犯罪対策総合センター)
日 時：平成19年1月15日(月)
テ ー マ：「わが子がネット上のトラブルの被害者、そして加害者とならないために」
- 6) 研究授業の実施
- 対 象：高校3年生
教 科：美術
日 時：平成18年12月7日(木)
テ ー マ：「映像を使った動く彫刻(身体表現)の試み」
担当教諭：石川洋子
- 対 象：高校1年生
教 科：英語科 英語 b(習熟度の高いクラス)
日 時：平成19年2月20日(火)14:00～14:50
担当教諭：鈴木真人(英語科)
- 対 象：中学1年生

教 科：英語科 英語（習熟度の低いクラス）

日 時：平成19年 2月22日（木）9：30～10：20

担当教諭：加藤明春（英語科）

- * および は、英語科の専任教員のうち経験年数の少ない教員が担当。見学者の研鑽よりも実施者の研鑽を目的として実施。

（2）広報関係および懇談会等関係

1）入学試験検定料の振込

平成18年度から入学試験検定料はコンビニからの振込が可能になった。

2）塾対象学校説明会

平成18年 5月18日（木）実施

3）学校説明会

本校主催による説明会

開催日	平成18年	6月17日（土）	クラブ発表会
"		7月8日（土）	6年生・保護者対象、5年生以下・保護者対象
"		9月16日（土）	6年生・保護者対象、5年生以下・保護者対象
"		9月28日（木）	保護者対象
"		10月23日（月）	保護者対象
"		11月11日（土）	6年生・保護者対象、5年生以下・保護者対象
"		11月20日（月）	保護者対象
"		11月25日（土）	体験授業
"		12月9日（土）	6年生・保護者対象、5年生以下・保護者対象

東京私立中学高等学校協会、進学塾等主催による説明会

年間16会場に参加し、受験生及び保護者に説明を行ってきた。

（3）施設設備・情報環境設備関係

1）第1、第2調理室ガスオープン改修工事（4,609,500円）

機器設置後15年経過に伴う劣化のため、第1、第2調理室のガスオープン（各室10台）をすべて更新する改修工事を行った。

2）油焚吸収冷暖房機全分解整備（15,015,000円）

5年ごとの計画整備として油焚吸収冷暖房機（ボイラー）の全機器の分解整備を行った。

3）跡見小講堂

幕地交換（2,478,000円）

舞台幕地の老朽化、破損等のため、交換工事を行った。

舞台照明設備修繕（2,698,500円）

15年使用による経年劣化のため、クセノンピンと主幹盤や照明操作卓等を修繕した。

（4）中学入試状況

平成19年度

（単位：名）

募集定員	出願数	受験者数	合格者数	入学予定者数
270	1,723	1,000	330	279

(5) 卒業生数・進路状況

1) 高等学校

平成18年度卒業生数(平成19年3月13日) 266名

平成18年度卒業生大学等合格状況

4年制大学【国公立】合格者数 6名

4年制大学【私立】合格者数 633名

短期大学 合格者数 6名

専門学校 合格者数 12名

留 学 3名

2) 平成18年中学校卒業生数(平成19年3月19日) 279名

・ 財 務 の 概 要

1 . 平成18年度跡見学園収支決算について

(1) 資金収支計算書の概要

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	5,131,394,000	5,083,040,320	48,353,680
手数料収入	159,360,000	154,986,300	4,373,700
寄付金収入	175,450,000	186,630,000	11,180,000
補助金収入	746,806,000	717,899,391	28,906,609
資産運用収入	41,000,000	48,342,024	7,342,024
事業収入	126,431,000	122,207,878	4,223,122
雑収入	166,949,000	258,905,556	91,956,556
前受金収入	1,358,787,000	1,397,732,700	38,945,700
その他の収入	365,389,000	2,061,997,750	1,696,608,750
資金収入調整勘定	1,412,043,000	1,559,038,442	146,995,442
前年度繰越支払資金	7,246,188,000	7,246,187,814	186
収入の部合計	14,105,711,000	15,718,891,291	1,613,180,291

(単位：円)

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	3,840,682,000	3,796,121,028	44,560,972
教育研究経費支出	1,261,389,000	1,125,434,882	135,954,118
管理経費支出	718,118,000	670,047,168	48,070,832
施設関係支出	97,714,000	99,350,037	1,636,037
設備関係支出	45,036,000	37,823,625	7,212,375
資産運用支出	600,000,000	700,000,000	100,000,000
その他の支出	70,061,000	1,678,740,062	1,608,679,062
[予備費]	(0)		
	50,000,000		50,000,000
資金支出調整勘定	49,450,000	128,749,917	79,299,917
次年度繰越支払資金	7,472,161,000	7,740,124,406	267,963,406
支出の部合計	14,105,711,000	15,718,891,291	1,613,180,291

資金収支計算書の目的は、その年度における教育研究活動、その他の諸活動に対応する全ての資金の収入と支出の内容を明らかにすること、また、その年度における資金の収入と支出の顛末を明らかにすることにあります。

平成18年度の収入の部の合計は15,718,891,291円（平成19年度入学者の学納金に係る前受金1,397,732,700円を含む）、これに対して、人件費支出から資金支出調整勘定までの当年度の支出額の合計は、7,978,766,885円でした。その結果、次年度繰越支払資金は、7,740,124,406円となりました。前年度繰越支払資金が7,246,187,814円でしたので、平成18年度の1年間で、493,936,592円の支払資金が増加したことになります。なお、この次年度繰越支払資金の金額は、貸借対照表の流動資産の合計額8,026,486,088円の一部（現金預金）に対応するものです。

(2) 消費収支計算書の概要

(単位：円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	5,131,394,000	5,083,040,320	48,353,680
手数料	159,360,000	154,986,300	4,373,700
寄付金	175,450,000	203,561,381	28,111,381
補助金	746,806,000	717,899,391	28,906,609
資産運用収入	41,000,000	48,342,024	7,342,024
事業収入	126,431,000	122,207,878	4,223,122
雑収入	166,109,000	239,103,937	72,994,937
帰属収入合計	6,546,550,000	6,569,141,231	22,591,231
基本金組入額合計	108,262,000	123,440,963	15,178,963
消費収入の部合計	6,438,288,000	6,445,700,268	7,412,268

(単位：円)

消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	3,778,738,000	3,671,376,242	107,361,758
教育研究経費	1,851,582,000	1,711,331,481	140,250,519
管理経費	765,881,000	717,904,115	47,976,885
資産処分差額	5,688,000	22,046,953	16,358,953
徴収不能引当金繰入額	0	31,771,750	31,771,750
[予備費]	(0)		
	50,000,000		50,000,000
消費支出の部合計	6,451,889,000	6,154,430,541	297,458,459
当年度消費収入超過額	0	291,269,727	
当年度消費支出超過額	13,601,000	0	
前年度繰越消費支出超過額	2,501,569,000	2,172,798,945	
基本金取崩額	0	144,690,100	
翌年度繰越消費支出超過額	2,515,170,000	1,736,839,118	

消費収支計算書は、その年度における消費収入と消費支出の内容及びその均衡状態を明らかにすることを目的としています。

消費収入とは、学生生徒等納付金等、学校法人の負債とならない収入（帰属収入）から基本金組入額を控除して計算します。基本金は、学校法人会計固有の概念のひとつで、学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとされています。

消費支出は、人件費、教育研究経費等、学校法人の諸活動に伴う支出の他、減価償却額等、資金の支出を伴わない支出も含まれます。

平成18年度の帰属収入のうち、学生生徒等納付金、手数料（入学検定料）及び補助金（国庫補助金）等が予算額を下回りましたが、寄付金、資産運用収入、事業収入、雑収入（私立大学退職金財団交付金）等が予算額を上回ったことにより、基本金組入額控除後の消費収入の部合計は、ほぼ予算額と同水準となりました。

一方、消費支出については、経費節減の施策等により、人件費、教育研究経費等が予算額を下回りました。この結果、予算では、13,601,000円の消費支出超過を見込んでいましたが、転じて、291,269,727円の消費収入超過となりました。

（3）貸借対照表の概要

平成19年3月31日

（単位：円）

資産の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	21,132,826,966	21,235,304,664	102,477,698
流動資産	8,026,486,088	7,429,929,825	596,556,263
資産の部合計	29,159,313,054	28,665,234,489	494,078,565

（単位：円）

負債の部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	1,850,179,552	1,954,597,711	104,418,159
流動負債	1,625,778,815	1,441,992,781	183,786,034
負債の部合計	3,475,958,367	3,396,590,492	79,367,875
基本金の部合計	27,420,193,805	27,441,442,942	21,249,137
消費収支差額の部合計	1,736,839,118	2,172,798,945	435,959,827
負債の部、基本金の部及び 消費収支差額の部合計	29,159,313,054	28,665,234,489	494,078,565

資産の部のうち、固定資産については、特定資産の積み立てにより、その他の固定資産が398,648,822円増加した一方、除却、減価償却等により有形固定資産が501,126,520円減少したため、固定資産全体としては、102,477,698円の減少となりました。流動資産については、既述のとおり、現金預金が増加したほか、私立大学退職金財団交付金等に係る未収入金の増加により、全体で596,556,263円の増加となりました。

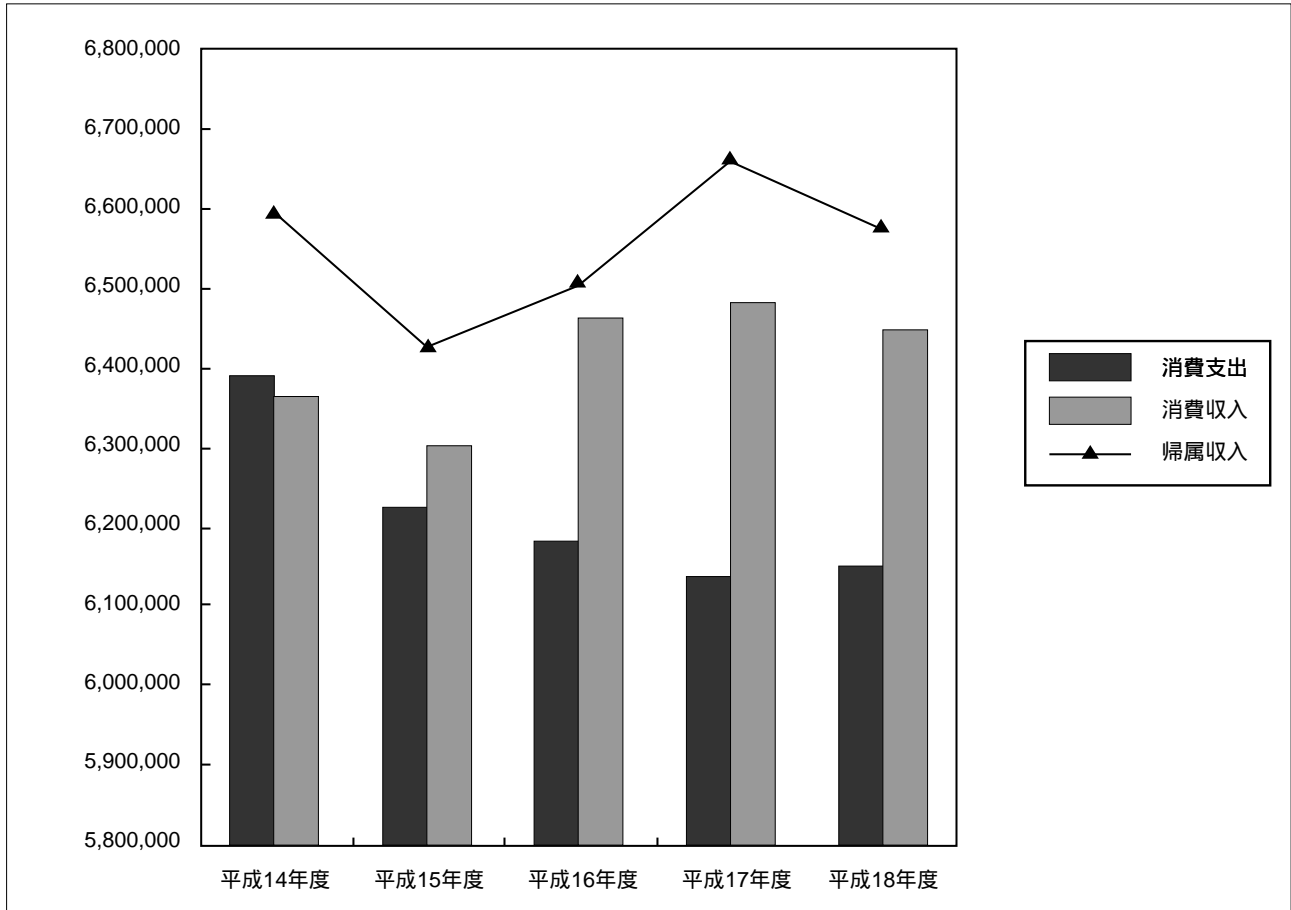
負債の部のうち、固定負債については退職金の支払いに伴う取崩し等により、退職給与引当金が104,418,159円減少しました。流動負債は、平成19年度入学者に係る前受金の増加が主たる要因となり、183,786,034円増加しました。

基本金の部は、123,440,963円の組入れを行いました。短期大学部の閉学を受け、同部門の機器備品等に係る基本金の取崩しを行ったため、全体としては、21,249,137円の減少となりました。

消費収支差額の部（翌年度繰越消費支出超過額）は、消費収支計算書における当年度消費収入超過額291,269,727円及び基本金取崩額144,690,100円の合計額に相当する435,959,827円が減少しました。

2. 過去5年間の収支決算の推移について

(単位：千円)



～参考～

- 帰属収入 負債（借入金、前受金等）とならない収入
- 消費収入 帰属収入から基本金組入額を控除した収入で、消費支出に対応する収入
- 消費支出 消費する資産の取得価額及び用役の対価（人件費、消耗品、旅費等）

・収益事業の概要

(1) 概 要

収益事業部（以下「事業部」という。）は専任職員2名により、中学校・高等学校及び短期大学の教科書、学用品及びスポーツ用品並びに駐車場賃貸等が売上げの中心となっている。

平成18年度は、短期大学部最後の年度で学生数の減少もあり、商品売上高が減少したが、中学校・高等学校の副読本の取扱い増加による書籍売上高が増収となり、前年度並みの売上高を確保できた。しかし、販売費及び一般管理費が前年度比増加となり、損益面で前年度比減益となった。

< 事業部の年間業務 >

4月 新学期販売準備（上履、校庭履、指定用品等）

中高生及び短大生教科書販売

ランチ販売

住宅・厚生貸付、生命保険、団体保険、損害保険代理店

駐車場賃貸

（以上は経常業務）

教師用教科書・指導書販売

5月 中高生スポーツ大会飲料水販売

中学学校説明会、幹事会・父母会等飲料水販売

収益事業決算

6月 短大生教科書販売終了（6月末まで）

7月 中高生夏期休暇用教科書販売

中学学校説明会入試問題集販売

8月 夏期休業

9月 中高生新年度用教科書・教材問合せ準備

10月 短大生教科書販売

中学高校体育祭飲料水販売

中学高校文化祭食堂出店・入試問題集販売

中学学校説明会入試問題集販売

11月 中高生新学期用教科書入荷

中高生用副教材発注準備・教師用指導書発注

中学学校説明会入試問題集販売

12月 中高生新学期用教科書入荷

中学学校説明会入試問題集販売

1月 中学帰国生入試関係準備

中高生新学期用副教材の発注

2月 中学入試期間物品・飲料水等販売

中学新入生教科書・教材販売

中高在校生教科書申込・集計等

3月 中高在校生教科書販売

中学高校卒業式物品・飲料水等販売

中高生新学期用物品等準備

予算編成

(2) 貸借対照表について

資産の部合計	133,810千円で、前年度比	3,824千円の減
負債の部合計	134,648千円で、前年度比	441千円の増
純資産の部合計	838千円で、前年度比	4,265千円の減
負債・純資産の部合計	133,810千円で、前年度比	3,824千円の減

となった。これは、在庫や教職員用の長期貸付金（住宅融資の一部）の減少と、販売費及び一般管理費の増加並びに事業部から法人への寄付金10,000千円によるものである。

(3) 損益計算書について

営業収益は前年度とほぼ同額であるが、法人寄付を含む販売費及び一般管理費が前年度比3,953千円の増加となった。税引前当期純利益 3,395千円であるが前年度繰越利益もあり、法人税・住民税及び事業税870千円を差し引くと、繰越利益剰余金期末残高は 3,838千円の赤字となった。

平成18年度収益事業に係る貸借対照表

(単位：円)

資産の部	
流動資産	125,775,544
固定資産	8,034,897
資産の部合計	133,810,441
負債の部	
流動負債	29,914,077
固定負債	104,734,500
負債の部合計	134,648,577
純資産の部	
資本金	3,000,000
剰余金・欠損金 (繰越利益剰余金)	3,838,136
純資産の部合計	838,136
負債・純資産の部合計	133,810,441

平成18年度収益事業に係る損益計算書

(単位：円)

経常損益の部	
営業損益	
営業収益	87,400,826
営業費用	50,794,943
売上総利益	36,605,883
販売費及び一般管理費	41,736,623
営業利益	5,130,740
営業外損益	
営業外収益	1,724,622
経常利益	3,406,118
特別損益の部	
特別利益	10,900
税引前当期純利益(損失)	3,395,218
法人税・住民税及び事業税	870,700
当期純利益(損失)	4,265,918
繰越利益剰余金期首残高	427,782
繰越利益剰余金期末残高	3,838,136

資金収支計算書

平成 18年 4月 1日から
平成 19年 3月 31日まで

(単位 円)

収入の部	予 算	決 算	差 異
科 目			
学生生徒等納付金収入	5,131,394,000	5,083,040,320	48,353,680
授業料収入	3,732,156,000	3,692,897,250	39,258,750
入学金収入	463,660,000	463,883,500	223,500
実験実習料収入	16,734,000	15,937,570	796,430
施設設備資金収入	854,260,000	845,750,000	8,510,000
冷暖房費収入	64,584,000	64,572,000	12,000
手数料収入	159,360,000	154,986,300	4,373,700
入学検定料収入	106,450,000	101,460,000	4,990,000
試験料収入	0	500	500
証明手数料収入	48,510,000	48,887,200	377,200
大学入試センター試験実施手数料収入	4,400,000	4,638,600	238,600
寄付金収入	175,450,000	186,630,000	11,180,000
特別寄付金収入	34,542,000	34,542,000	0
一般寄付金収入	140,908,000	152,088,000	11,180,000
補助金収入	746,806,000	717,899,391	28,906,609
国庫補助金収入	313,997,000	285,766,000	28,231,000
地方公共団体補助金収入	427,678,000	427,002,391	675,609
都私学財団補助金収入	5,131,000	5,131,000	0
資産運用収入	41,000,000	48,342,024	7,342,024
受取利息 配当金収入	41,000,000	48,342,024	7,342,024
事業収入	126,431,000	122,207,878	4,223,122
補助活動収入	116,331,000	111,957,878	4,373,122
収益事業収入	7,000,000	7,000,000	0
受託事業収入	3,100,000	3,250,000	150,000
雑収入	166,949,000	258,905,556	91,956,556
雑収入	5,296,000	3,945,254	1,350,746
東京都私学財団交付金収入	840,000	64,663,002	63,823,002
私立大学退職金財団交付金収入	160,813,000	190,297,300	29,484,300
前受金収入	1,358,787,000	1,397,732,700	38,945,700
授業料前受金収入	570,969,000	583,954,000	12,985,000
入学金前受金収入	466,050,000	495,190,000	29,140,000
施設設備資金前受金収入	293,460,000	290,330,000	3,130,000
冷暖房費前受金収入	13,308,000	13,176,000	132,000
補助活動前受金収入	15,000,000	15,082,700	82,700
その他の収入	365,389,000	2,061,997,750	1,696,608,750
退職給与引当特定資産からの繰入収入	198,514,000	301,307,250	102,793,250
前期末未収入金収入	166,875,000	135,906,714	30,968,286
仮払金回収収入	0	134,829,037	134,829,037
前渡金回収収入	0	21,159,328	21,159,328
預り金受入収入	0	1,409,605,852	1,409,605,852
修学旅行費預り金受入収入	0	59,189,569	59,189,569
資金収入調整勘定	1,412,043,000	1,559,038,442	146,995,442
期末未収入金	119,400,000	266,395,942	146,995,942
前期末前受金	1,292,643,000	1,292,642,500	500
前年度繰越支払資金	7,246,188,000	7,246,187,814	186
収入の部合計	14,105,711,000	15,718,891,291	1,613,180,291

支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	3,840,682,000	3,796,121,028	44,560,972
教員人件費支出	2,404,373,000	2,299,851,714	104,521,286
職員人件費支出	1,205,153,000	1,162,811,340	42,341,660
役員報酬支出	32,642,000	32,250,724	391,276
退職金支出	198,514,000	301,207,250	102,693,250
教育研究経費支出	1,261,389,000	1,125,434,882	135,954,118
準備品費支出	1,070,000	1,055,615	14,385
消耗品費支出	96,308,000	79,856,136	16,451,864
光熱水費支出	108,658,000	105,111,506	3,546,494
通信運搬費支出	23,096,000	20,078,124	3,017,876
福利費支出	24,232,000	20,944,249	3,287,751
出版物費支出	55,993,000	52,310,922	3,682,078
印刷製本費支出	69,185,000	55,644,429	13,540,571
旅費交通費支出	28,807,000	23,376,709	5,430,291
奨学費支出	35,345,000	33,878,800	1,466,200
修繕費支出	38,740,000	37,304,877	1,435,123
保険料支出	480,000	424,058	55,942
賃借料支出	229,386,000	201,437,209	27,948,791
受講料支出	2,318,000	2,303,000	15,000
諸会費支出	5,926,000	5,663,423	262,577
学生・生徒会補助金支出	6,474,000	5,744,111	729,889
広告費支出	3,073,000	2,981,828	91,172
会議費支出	964,000	842,603	121,397
食事費支出	10,323,000	5,514,709	4,808,291
支払手数料支出	10,239,000	6,903,753	3,335,247
教育実習謝礼支出	1,625,000	956,570	668,430
渉外費支出	5,376,000	6,976,631	1,600,631
業務委託費支出	503,246,000	455,810,463	47,435,537
雑費支出	525,000	315,157	209,843
管理経費支出	718,118,000	670,047,168	48,070,832
準備品費支出	390,000	196,350	193,650
消耗品費支出	23,529,000	17,888,452	5,640,548
光熱水費支出	22,756,000	20,447,561	2,308,439
通信運搬費支出	13,339,000	8,421,841	4,917,159
福利費支出	10,072,000	8,717,136	1,354,864
出版物費支出	3,905,000	2,976,334	928,666
印刷製本費支出	36,290,000	27,984,401	8,305,599
旅費交通費支出	18,972,000	15,767,680	3,204,320
修繕費支出	17,214,000	9,129,707	8,084,293
保険料支出	3,693,000	3,644,020	48,980
賃借料支出	135,146,000	132,486,668	2,659,332
受講料支出	2,456,000	378,600	2,077,400
公租公課支出	3,303,000	3,427,000	124,000
諸会費支出	9,147,000	7,850,546	1,296,454
広告費支出	85,105,000	93,346,546	8,241,546
会議費支出	2,442,000	1,422,635	1,019,365
食事費支出	4,829,000	3,707,044	1,121,956
支払手数料支出	9,104,000	8,587,414	516,586
渉外費支出	7,925,000	4,650,827	3,274,173
業務委託費支出	308,278,000	298,706,465	9,571,535
雑費支出	223,000	309,941	86,941
施設関係支出	97,714,000	99,350,037	1,636,037
建物支出	60,202,000	61,876,437	1,674,437
建設仮勘定	37,512,000	37,473,600	38,400
設備関係支出	45,036,000	37,823,625	7,212,375
教育研究用機器備品支出	7,969,000	6,845,150	1,123,850
その他の機器備品支出	5,884,000	423,045	5,460,955
図書支出	31,183,000	30,555,430	627,570
資産運用支出	600,000,000	700,000,000	100,000,000
退職給与引当特定資産への繰入支出	200,000,000	300,000,000	100,000,000
建物設備償却引当特定資産への繰入支出	300,000,000	300,000,000	0
法人維持特定資産への繰入支出	100,000,000	100,000,000	0
その他の支出	70,061,000	1,678,740,062	1,608,679,062
仮払金支払支出	0	137,563,800	137,563,800
前渡金支払支出	0	21,159,328	21,159,328
前払金支払支出	10,450,000	10,542,702	92,702
預り金支払支出	0	1,391,198,356	1,391,198,356
修学旅行費預り金支払支出	0	59,189,569	59,189,569
前期未払金支払支出	59,611,000	59,086,307	524,693
[予備費]	(0)		
	50,000,000		50,000,000
資金支出調整勘定	49,450,000	128,749,917	79,299,917
期末未払金	39,000,000	118,299,536	79,299,536
前期未前払金	10,450,000	10,450,381	381
次年度繰越支払資金	7,472,161,000	7,740,124,406	267,963,406
支出の部合計	14,105,711,000	15,718,891,291	1,613,180,291

消費収支計算書

平成 18年 4月 1日から
平成 19年 3月 31日まで

(単位 円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	5,131,394,000	5,083,040,320	48,353,680
授業料	3,732,156,000	3,692,897,250	39,258,750
入学金	463,660,000	463,883,500	223,500
実験実習料	16,734,000	15,937,570	796,430
施設設備資金	854,260,000	845,750,000	8,510,000
冷暖房費	64,584,000	64,572,000	12,000
手数料	159,360,000	154,986,300	4,373,700
入学検定料	106,450,000	101,460,000	4,990,000
試験料	0	500	500
証明手数料	48,510,000	48,887,200	377,200
大学入試センター試験実施手数料	4,400,000	4,638,600	238,600
寄付金	175,450,000	203,561,381	28,111,381
特別寄付金	34,542,000	34,542,000	0
一般寄付金	140,908,000	152,088,000	11,180,000
現物寄付金	0	16,931,381	16,931,381
補助金	746,806,000	717,899,391	28,906,609
国庫補助金	313,997,000	285,766,000	28,231,000
地方公共団体補助金	427,678,000	427,002,391	675,609
都私学財団補助金	5,131,000	5,131,000	0
資産運用収入	41,000,000	48,342,024	7,342,024
受取利息 配当金	41,000,000	48,342,024	7,342,024
事業収入	126,431,000	122,207,878	4,223,122
補助活動収入	116,331,000	111,957,878	4,373,122
収益事業収入	7,000,000	7,000,000	0
受託事業収入	3,100,000	3,250,000	150,000
雑収入	166,109,000	239,103,937	72,994,937
雑収入	5,296,000	3,945,254	1,350,746
私立大学退職金財団交付金	160,813,000	190,297,300	29,484,300
過年度消費支出修正戻入額	0	525,008	525,008
退職給与引当金戻入額	0	44,336,375	44,336,375
帰属収入合計	6,546,550,000	6,569,141,231	22,591,231
基本金組入額合計	108,262,000	123,440,963	15,178,963
消費収入の部合計	6,438,288,000	6,445,700,268	7,412,268

(単位 円)

消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	3,778,738,000	3,671,376,242	107,361,758
教員人件費	2,404,373,000	2,299,851,714	104,521,286
職員人件費	1,205,153,000	1,162,811,340	42,341,660
役員報酬	32,642,000	32,250,724	391,276
退職金	0	3,550,000	3,550,000
退職給与引当金繰入額	136,570,000	172,912,464	36,342,464
教育研究経費	1,851,582,000	1,711,331,481	140,250,519
準備品費	1,070,000	1,285,615	215,615
消耗品費	96,308,000	80,156,136	16,151,864
光熱水費	108,658,000	105,111,506	3,546,494
通信運搬費	23,096,000	20,078,124	3,017,876
福利費	24,232,000	20,944,249	3,287,751
出版物費	55,993,000	52,310,922	3,682,078
印刷製本費	69,185,000	55,644,429	13,540,571
旅費交通費	28,807,000	23,376,709	5,430,291
奨学費	35,345,000	33,878,800	1,466,200
修繕費	38,740,000	37,304,877	1,435,123
保険料	480,000	424,058	55,942
賃借料	229,386,000	201,437,209	27,948,791
受講料	2,318,000	2,303,000	15,000
諸会費	5,926,000	5,663,423	262,577
学生・生徒会補助金	6,474,000	5,744,111	729,889
広告費	3,073,000	2,981,828	91,172
会議費	964,000	842,603	121,397
食事費	10,323,000	5,514,709	4,808,291
支払手数料	10,239,000	6,903,753	3,335,247
教育実習謝礼	1,625,000	956,570	668,430
渉外費	5,376,000	6,976,631	1,600,631
業務委託費	503,246,000	455,810,463	47,435,537
雑費	525,000	315,157	209,843
減価償却額	590,193,000	585,366,599	4,826,401
管理経費	765,881,000	717,904,115	47,976,885
準備品費	390,000	196,350	193,650
消耗品費	23,529,000	17,888,452	5,640,548
光熱水費	22,756,000	20,447,561	2,308,439
通信運搬費	13,339,000	8,421,841	4,917,159
福利費	10,072,000	8,717,136	1,354,864
出版物費	3,905,000	2,976,334	928,666
印刷製本費	36,290,000	27,984,401	8,305,599
旅費交通費	18,972,000	15,767,680	3,204,320
修繕費	17,214,000	9,129,707	8,084,293
保険料	3,693,000	3,644,020	48,980
賃借料	135,146,000	132,486,668	2,659,332
受講料	2,456,000	378,600	2,077,400
公租公課	3,303,000	3,427,000	124,000
諸会費	9,147,000	7,850,546	1,296,454
広告費	85,105,000	93,346,546	8,241,546
会議費	2,442,000	1,422,635	1,019,365
食事費	4,829,000	3,707,044	1,121,956
支払手数料	9,104,000	8,587,414	516,586
渉外費	7,925,000	4,650,827	3,274,173
業務委託費	308,278,000	298,706,465	9,571,535
雑費	223,000	309,941	86,941
減価償却額	47,763,000	47,856,947	93,947
資産処分差額	5,688,000	22,046,953	16,358,953
教育研究用機器備品処分差額	2,560,000	19,374,874	16,814,874
その他の機器備品処分差額	640,000	305,223	334,777
図書処分差額	2,488,000	2,366,856	121,144
徴収不能引当金繰入額	0	31,771,750	31,771,750
徴収不能引当金繰入額	0	31,771,750	31,771,750
[予備費]	(0)		
	50,000,000		50,000,000
消費支出の部合計	6,451,889,000	6,154,430,541	297,458,459
当年度消費収入超過額	0	291,269,727	
当年度消費支出超過額	13,601,000	0	
前年度繰越消費支出超過額	2,501,569,000	2,172,798,945	
基本金取崩額	0	144,690,100	
翌年度繰越消費支出超過額	2,515,170,000	1,736,839,118	

貸借対照表

平成19年3月31日

(単位 円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	21,132,826,966	21,235,304,664	102,477,698
有形固定資産	15,828,535,086	16,329,661,606	501,126,520
土地	1,554,303,706	1,554,303,706	0
建物	11,095,558,510	11,584,221,478	488,662,968
構築物	272,778,878	305,803,435	33,024,557
教育研究用機器備品	307,784,407	365,793,348	58,008,941
その他の機器備品	48,348,976	47,634,597	714,379
図書	2,511,788,895	2,471,406,928	40,381,967
車輛	498,114	498,114	0
建設仮勘定	37,473,600	0	37,473,600
その他の固定資産	5,304,291,880	4,905,643,058	398,648,822
敷金	100,000,000	100,000,000	0
電話加入権	13,566,079	13,566,079	0
商標権	21,968	65,896	43,928
収益事業元入金	3,000,000	3,000,000	0
長期貸付金	103,000,000	103,000,000	0
退職給与引当特定資産	867,563,833	868,871,083	1,307,250
建物償却引当特定資産	2,873,700,000	2,573,700,000	300,000,000
備品償却引当特定資産	13,000,000	13,000,000	0
法人維持特定資産	1,330,440,000	1,230,440,000	100,000,000
流動資産	8,026,486,088	7,429,929,825	596,556,263
現金預金	7,740,124,406	7,246,187,814	493,936,592
修学旅行費預り資産	30,132,339	29,057,230	1,075,109
未収入金	241,157,818	142,440,340	98,717,478
仮払金	4,528,823	1,794,060	2,734,763
前払金	10,542,702	10,450,381	92,321
資産の部合計	29,159,313,054	28,665,234,489	494,078,565

(単位 円)

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	1,850,179,552	1,954,597,711	104,418,159
退職給与引当金	1,850,179,552	1,954,597,711	104,418,159
流動負債	1,625,778,815	1,441,992,781	183,786,034
前受金	1,397,732,700	1,292,642,500	105,090,200
仮受金	8,199,600	8,199,600	0
預り金	70,890,000	52,482,504	18,407,496
修学旅行費預り金	30,132,339	29,057,230	1,075,109
未払金	118,824,176	59,610,947	59,213,229
負債の部合計	3,475,958,367	3,396,590,492	79,367,875
基本金の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	26,880,193,805	26,901,442,942	21,249,137
第4号基本金	540,000,000	540,000,000	0
基本金の部合計	27,420,193,805	27,441,442,942	21,249,137
消費収支差額の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	1,736,839,118	2,172,798,945	435,959,827
消費収支差額の部合計	1,736,839,118	2,172,798,945	435,959,827
科目	本年度末	前年度末	増減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	29,159,313,054	28,665,234,489	494,078,565

財 産 目 録

平成19年3月31日

資産総額		29,159,313,054 円
内	(一)基本財産	15,828,535,086 円
	(二)運用財産	13,330,777,968 円
負債総額		3,475,958,367 円
正味財産		25,683,354,687 円

区分	金額
一 資産	
(一) 基本財産	
1 土地	232,847.96 m ² 1,554,303,706 円
(1)校地	232,847.96 m ² 1,554,303,706 円
2 建物	70,604.27 m ² 11,095,558,510 円
(1)校舎	66,228.55 m ² 10,718,068,075 円
(2)校外	2,626.07 m ² 233,594,009 円
(3)法人棟	1,749.65 m ² 143,896,426 円
3 教具、校具、備品	28,584 点 356,133,383 円
4 図書	488,700 冊 2,511,788,895 円
5 その他	310,750,592 円
(二) 運用財産	
1 現金預金	7,740,124,406 円
2 積立金	5,084,703,833 円
3 その他	505,949,729 円
総額	29,159,313,054 円
二 負債	
(一) 固定負債	
1 退職給与引当金	1,850,179,552 円
(二) 流動負債	
1 前受金	1,397,732,700 円
2 未払金	118,824,176 円
3 その他	109,221,939 円
総額	3,475,958,367 円
正味財産 (資産総額-負債総額)	25,683,354,687 円


監査報告書

平成19年5月21日

学校法人 跡見学園
理事会 御中
評議員会 御中

学校法人 跡見学園

監事

金井 塚 清 

監事

塩谷 睦夫 

私たち学校法人跡見学園の監事は、私立学校法第37条第3項及び寄附行為第10条の規定に基づき、平成18年度（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで）の法人の業務、収支及び財産並びに理事の職務執行の状況を監査いたしました。その結果につき以下の通り報告いたします。

1. 監査方法の概要

監事は、理事会及び評議員会に出席したほか、理事から業務の報告を聴取し、かつ、重要な決裁書類等を閲覧し、主要な関係部署において業務、収支及び財産の状況を調査し、また、会計監査人（小川敏市、浅田清美）と連携を取り、計算書類につき検討を行いました。

2. 監査の結果

- (1) 法人の業務に関する決定、理事の職務執行及び業務の報告に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。
- (2) 資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表並びに収益事業に係る計算書類は、会計帳簿の記載と合致し、法令及び寄附行為に従い法人の収支及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。

以上